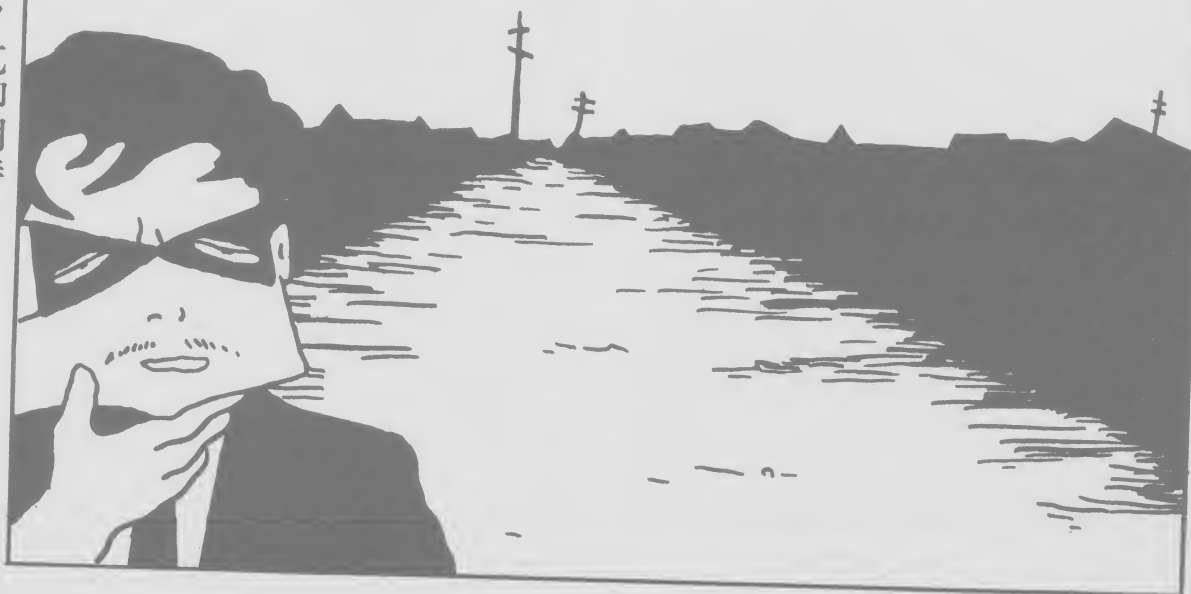
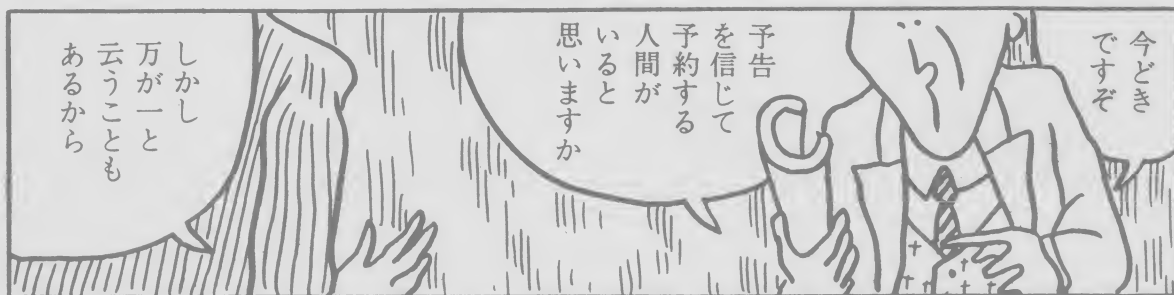
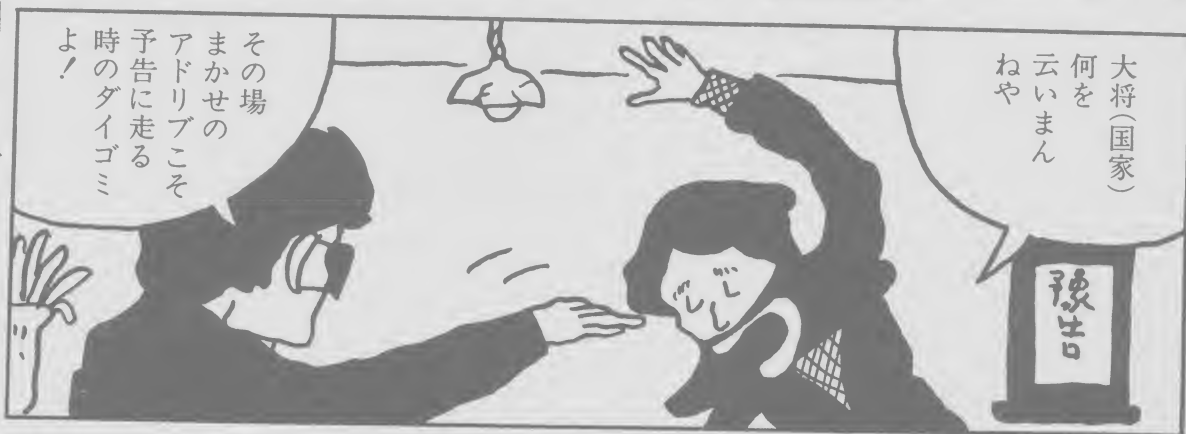
広告漫画

豫告の果

櫻画報社広告部
漫画課川崎ゆきお係

毎度、お待たせせの『櫻画報激動の千二百五十日』9月下旬ついに刊行！乞御期待！

また一ト月遅れて『櫻画報激動の千二百五十日』9月下旬いよいよ刊行！乞御期待！

ヒラにご容赦を乞いつつ『櫻画報激動の千二百五十日』9月下旬とうとう刊行！乞御期待！

忍者！

フフフ
出ておるぞ
久しぶりに
新聞に桜画報
の名前が……

全世界が待ちわびる『櫻画報激動の千二百五十日』9月下旬にはまちがいなく刊行！乞御期待！

『増補櫻画報永久保存版』改メ『櫻画報激動の千二百五十日』が出まんねや

なに遂に愈々到頭出るか

<広告のページ>

おどろくべき延刊の後『櫻画報激動の千二百五十日』9月下旬堂々刊行！乞御期待！

手に汗握った『櫻画報激動の千二百五十日』9月下旬まさに完成！大団円！

作者から一言（自戒をこめて）

この作品が示す如く、いたずらに予告に走ってはならない、いかに現在が退屈に満ち満ちても出版社というものがりっぱな社会事業として世に貢献せんものなら、また作家というものが、他人様に笑われるような不名誉を味わいたくなければ決して予告に酔いしれ、走ることを禁じなければならない、この作中に登場する予告の徒達は、いかに己れの予告心を満たしてもその果ては決して他人から見てすばらしき結末とはなっていない。かの川崎乱歩が云う「予告の徒よ、君たちはあまりにも予告をし過ぎてはならない、この物語こそよき戒めである。予告の果がいかばかり恐ろしいものであるか！」

◎編集部註　この漫画はフィクションであり単なるいたずらであります。一部相当に不穏当な表現がありますが深くお考えにならぬ様蛇足ながら記しておきます。

月刊ガロ1974年10月号掲載　※現在『櫻画報激動の千二百五十日』は品切ております。